

令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和 8 年 4 月 23 日（木）に実施されました全国学力・学習状況調査の本県の結果の概要等については、下記のとおりです。

なお、調査の概要については、別紙を参照してください。

記

1 教科に関する調査結果の概要

(1) 平均正答率

小学校		中学校		
国語	算数	国語	数学	英語
61.1%	55.0%	62.2%	56.2%	494
(60.9%)	(56.4%)	(63.9%)	(57.0%)	(499)

※（ ）の数値は全国（公立）の平均正答率

※中学校英語は IRT スコア

【参考】

・IRT（項目反応理論）

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論

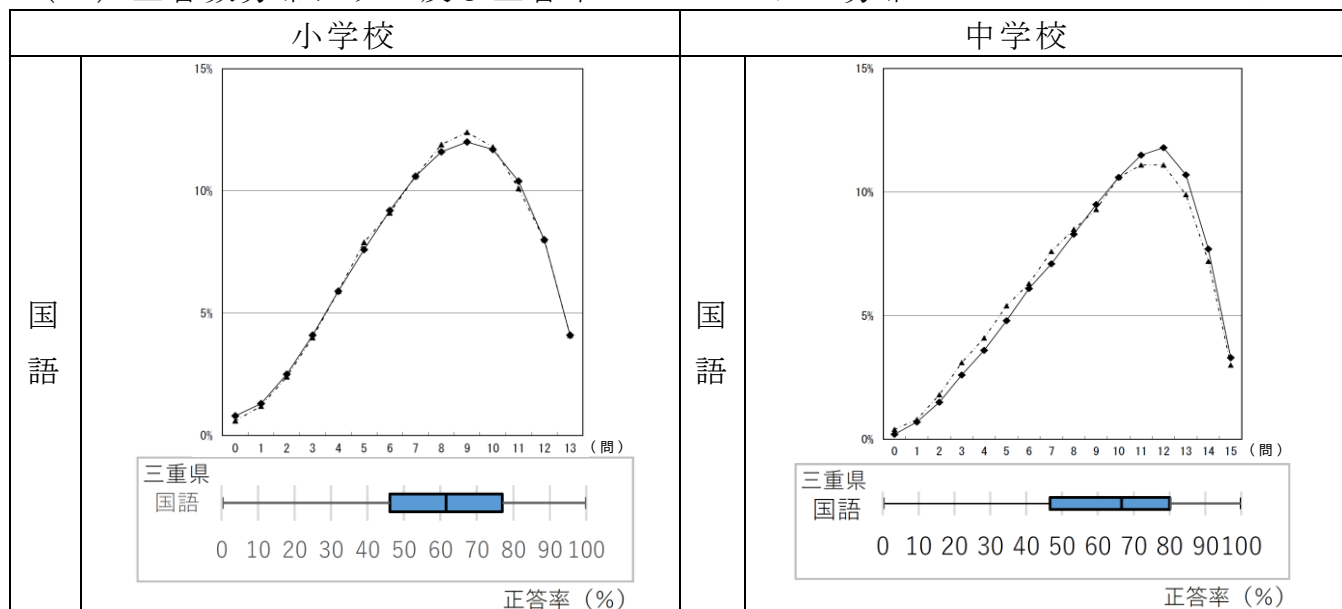
・IRT スコア

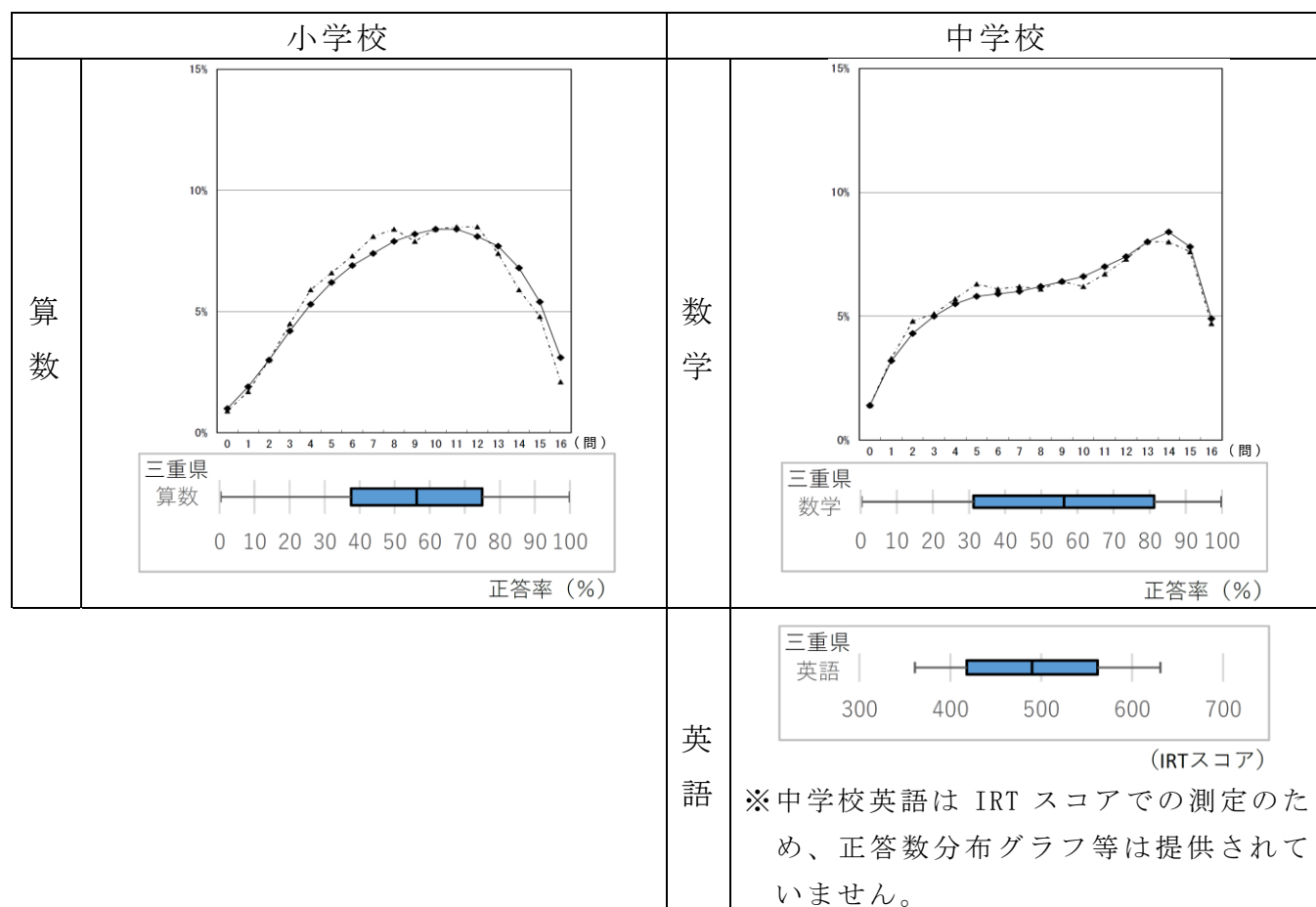
IRT（項目反応理論）に基づいて各設問の正誤パターンから学力を推定し、500 を基準にした得点で表すもの

—▲— 三重県（公立）

—●— 全国（公立）

(2) 正答数分布グラフ及び正答率・IRT スコアの分布



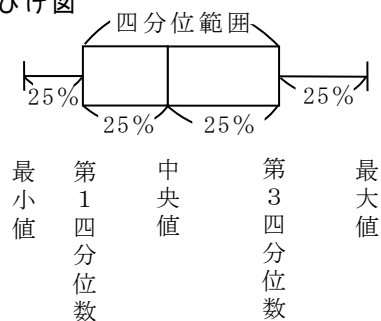


- ・小学校、中学校ともに国語に比べて、算数・数学の方が四分位範囲が広がっており、正答率のばらつきが大きい様子がみられました。

箱ひげ図とは、データの分布を大まかに把握するためのグラフです。箱（長方形）とひげ（線）を使って、データの最大値・最小値・四分位数を表します。

- ・図の箱の部分、正答率の順に児童生徒を並べたとき、中央付近の約 50%の児童生徒が、どれくらいの正答率であったかを示します。

・箱ひげ図



四分位数

データを四等分した数で、下から $1/4$ にある数を第1四分位数、中央値を第2四分位数、上から $1/4$ にある数を第3四分位数と表します。

四分位範囲

データの中央付近の約 50%が含まれる区間の大きさ（第3四分位数と第1四分位数の差）を表します。

2 児童生徒質問調査の主な結果

※（ ）の数値は、全国平均との差

(1) 自己肯定感等

① 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある（肯定的な回答）

	R5	R6	R7	R8
小学生	90.1(-0.9)	92.1(+0.4)	93.1(+0.1)	92.8(+0.3)
中学生	87.9(+1.1)	90.6(+0.8)	91.9(+0.3)	91.7(+0.7)

② 自分には、よいところがある（肯定的な回答）

	R5	R6	R7	R8
小学生	81.9(-1.6)	82.4(-1.7)	85.1(-1.8)	84.7(-0.9)
中学生	80.9(+0.9)	83.8(+0.5)	86.8(+0.6)	84.1(+0.1)

③ 先生は、あなたのよいところを認めてくれている（肯定的な回答）

	R5	R6	R7	R8
小学生	89.8(0.0)	90.6(+0.7)	92.5(+0.3)	92.2(+0.8)
中学生	89.2(+1.9)	91.4(+1.0)	92.7(+0.5)	91.3(+0.4)

「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答した割合が9割を超え、全国平均より高い状況です。

「自分には、よいところがある」と回答した割合は8割を超える状況です。

(2) 学習習慣

① 平日の学習時間（1時間以上）

	R5	R6	R7	R8
小学生	54.0(-3.1)	50.6(-4.0)	50.3(-3.7)	45.4(-4.5)
中学生	64.9(-0.9)	63.2(-1.1)	60.5(-1.1)	61.7(+0.1)

② 休日の学習時間（1時間以上）

	R5	R6	R7	R8
小学生	44.7(-7.8)	40.4(-8.2)	38.0(-9.1)	33.0(-6.0)
中学生	59.6(-5.7)	55.6(-7.4)	49.8(-8.1)	48.9(-3.6)

「平日の学習時間」「休日の学習時間」において1時間以上と回答する割合は、中学生の平日の学習時間で改善がみられましたが、依然として課題があります。

(3) 地域や社会に関わる活動の状況

① 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う（肯定的な回答）

	R5	R6	R7	R8
小学生	77.9(+1.1)	83.8(+0.3)	82.0(+0.7)	82.3(+2.2)
中学生	68.8(+4.9)	77.7(+1.6)	77.4(+2.1)	74.3(+2.0)

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した割合は、小中学生ともに全国平均を上回っており、地域や社会への関心や参画意識がうかがえます。

(4) 学習への支援

- ①先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う（肯定的な回答）

	R5	R6	R7	R8
小学生	94.3(+1.3)	89.4(+1.5)	89.4(+2.0)	88.5(+1.2)
中学生	91.5(+2.6)	86.3(+1.4)	85.2(+1.4)	86.8(+1.6)

「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した割合は、全国平均を上回る状況が続いています。

3 調査結果を受けての対応

県教育委員会では、教科に関する調査や質問調査の結果について多面的に分析するとともに、市町等教育委員会と課題や成果を共有した上で、今後の取組について協議し、一体となって取組を進めてまいります。

子どもたちが主体的に学ぶ授業づくりを推進するため、若手教員の授業力向上や学校への伴走支援など、教員の学びを支え、授業改善につなげる取組を進めるとともに、自己マネジメント力の育成を通じた学習習慣の確立に取り組み、三重の子どもたちの確かな学力の育成に努めます。また、一人ひとりの自己肯定感を涵養する教育を推進してまいります。